

第179回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

- 1 日時 令和5年3月23日（木）16:00～16:10
- 2 場所 危機管理センター災害対策本部会議室（ペーパーレス会議）
- 3 議事

（1）新型コロナウイルス感染者の状況等について

（保健福祉部長）

5ページ、資料1をお願いいたします。

【資料1】

昨日の新規陽性者数は、187人です。

昨日は、前の週の同じ曜日を上回りましたが、3月3日以降概ね前の週の同じ曜日を下回っております。

次に、4ページ。

22日現在の療養者の状況です。

確保病床の入院者は、95人です。

このうち、重症者が2人となっております。

なお、確保病床外に入院している方も含めた入院者数は162人です。

宿泊療養施設入所者数は、20人となっております。

次に、6ページ

人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数は、61.15人。

3月6日以降、100人を下回る水準で推移しております。

次に、8ページ

確保病床の使用率は、12.4%。

引き続きレベル1の水準となっております。

【資料2】

次に、11ページ、資料2をお願いいたします。

「重症者用の病床使用率」が、4.3%、

発熱外来患者の状況を示す「一週間の医療機関報告新規陽性者数」が、958人となっております。

ただいま説明しましたとおり、新規陽性者数など各種指標は、減少傾向を維持しております。

また、第8波ピーク時には、医療の負荷が大きかった「コロナに関連して休んでいる医師・看護師の数」や「救急搬送困難事案件数」も改善が見られるほか、季節性インフルエンザの流行状況等を総合的に勘案し、レベル判断を「レベル1」としたいと考えております。

なお、レベル1への変更に伴い、無症状の県民の方々を対象とした無料検査については、今月末をもって終了となります。利用者及び事業者の方々に丁寧に説明してまいります。

【資料3】

次に、13ページ、資料3をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症は、これまでの「2類相当」から、5月8日以降は「5類」へと変更されます。

現時点で国から詳細な情報が示されていない事項もありますが、「5類」への移行後も、県民の皆さんが相談や診療を心配なく受けられるよう対応を検討しております。

なお、療養支援体制については、宿泊療養施設の運営や、自宅療養者に対する食料配送は5月7日をもって終了となるほか、治療費の負担についても、治療薬の公費負担以外は、自己負担が発生することとされております。

引き続き、国から情報収集を続け、県民の皆さんが混乱しないよう、整理された内容を繰り返し呼びかけてまいります。

(2) 新型コロナワクチンの接種状況等について

(病院局長)

15ページ、資料5をお願いいたします。

【資料5】

3月21日時点の接種実績については記載のとおりになります。

このうちオミクロン株対応ワクチンの接種回数につきましては、累計で、997,536回、全人口に対する接種率は54.2%で全国における接種率44.5%を9.7ポイント上回っております。

現在行われているオミクロン株対応ワクチンの接種は、5月7日までとなります。

引き続き、新型コロナワクチンをできるだけ多くの方が接種できるよう、接種促進に取り組んでまいります。

(教育長)

国から新学期以降の学校におけるマスク着用の考え方の見直し等に係る通知があった

ことを踏まえ、3月17日、各県立学校に対し、4月1日以降の学校教育活動に当たっては、児童生徒や教職員にマスクの着用を求めないことを基本とするよう通知いたしました。

ただし、登下校時に混雑したバスや電車を利用する場合など、マスクの着用が推奨される場面があることに留意するよう周知するとともに、学校や教職員が児童生徒に着脱を強いることのないようにし、着用の有無による差別・偏見等が起きないように取り組んでまいります。

また、換気などのマスク着用以外の基本的な感染症対策を継続することといたします。

なお、通知については、市町村教育委員会にも参考として送付をいたしました。

引き続き、感染対策と学校教育の両立に努めてまいります。

(総務部長)

私立学校に対しましても、先日、新学期以降の学校におけますマスク着用の考え方の見直し等につきまして通知を発出したところでございます。

(金光教授)

このところの様子をうかがっていますと、感染者はいらっしゃるんですが、比較的落ち着いてきたと思っております。

ただ、今が底値と思っておりますし、間違いないのはこのウイルスが絶対に消えないということでもあります。

陽性者の周りからじわじわと増加してくるだろうと考えてございます。

ぜひ県民の皆様には流行時の感染対策をどうやってきたか、あるいは症状が出た時は仕事をどうするか、貴重な経験を持っているわけですから、ぜひ生かしていただければと思っております。

(知事)

全国の新規陽性者数は、3千人を下回る日も見られるなど、減少傾向が続いています。本県においては、今月に入り、前の週の同じ曜日を上回る日が何度か見られたものの、おおむね減少傾向が続いています。

県民の皆様、事業者の皆様には、この傾向を維持していくため、引き続き、感染防止対策への御協力をお願いします。

今月13日から、マスクの着用については、個人の判断が基本となっています。しかし、ウイルスの特性は変わりません。お一人お一人が感染リスクや重症化リスクを正しく理解した上で、必要性が高い場面では、引き続きマスクを着用することが有効です。

特に、高齢者等への感染を防ぐため、医療機関の受診時や高齢者施設等への訪問時、混

雑した乗り物の中では、引き続き着用することが推奨されています。また、重症化リスクのある方が感染流行期に混雑した場所に行く場合には、マスクの着用が効果的とされています。

なお、事業者の方が感染対策上の理由等によりマスクの着用を求められた場合は、御協力をお願いします。

一方で、様々な理由から、マスクを着用できない方や、マスクを着用する必要がある方もおられます。県民の皆様お一人お一人の思いやりのある行動をお願いします。

マスク着用のルールは見直されましたが、感染対策が不要になったわけではありません。引き続き、基本的な感染対策の徹底をお願いします。

また、陽性者の療養期間や濃厚接触者の自宅待機期間、コロナワクチンの接種についても、取り扱いに変わりはありませんので、引き続き御協力をお願いします。

本県のレベル判断については、新規陽性者数が減少したことなどを踏まえ、本日から「レベル1」に移行します。

一方、年度末から年度始めにかけては、進学・就職・転勤等に伴い、引っ越しや移動をされる方が増えるなど、生活スタイルが変わる時期でもあり、注意が必要です。

生活スタイルの変化に対応しながら、「3密の回避」、「人と人との距離の確保」、「手洗い等の手指衛生」、「換気の励行」といった基本的な感染対策の継続をお願いします。

本県の新規陽性者数は減少傾向にあります。この流れを確かなものにしていくため、新たな環境においても気を緩めることなく、基本的な感染対策の徹底や、ワクチン接種など、感染対策を続けていくことが重要です。

引き続き、県民の皆様、事業者の皆様の御理解と御協力をよろしくをお願いします。